

## 第519回遊佐町議会定例会一般質問通告書

平成29年6月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	11番 斎藤 弥志夫  (一問一答)	1. 複式学級	文部科学省の学校教育法施行規則では、12～18学級を標準規模としているが、町内には標準規模を満たす小学校は1つもない。少子化の急激な進展で数年後には吹浦小、高瀬小、蕨岡小でそれぞれ複式学級が現れそうだが、町として教育委員会の方針としてはどのように対応していくのか。かつて教育委員会は複式学級を設置しないことを大前提としていたが、現在も変わりはないのか。複式学級のメリットとデメリットをどのように統括しているのかを伺う。
		2. 減債基金	町の減債基金と国の減債基金は性質が違ふと考えられる。町が減債基金から返済する予定の債務(借金)はどのようなものがあるか、それぞれの借入金利はいくらか。一方、減債基金は基金であって預けるときの金利は、預ける金融機関と預入期間で違ふだろうが、現状の金利はどのようなものか。
2	5番 土門 勝子  (一問一答)	1. 児童・生徒の通学体制は	少子化、人口減少の進む中、子どもたちが安全・安心に通学できる環境を作ることは不可欠である。小学校はほとんど徒歩通学、中学校は多様であり、特に家族の車での送迎の多さに脅威さえ感じます。 校則はどうか。学校や行政は机上だけで実態を把握しているのか。今まで事故や事件なく、昔からずっとだから今後も、と言うのは違和感があると思うが如何か。
		2. 町の行政職員の状況は	町民の財産と安全・安心を担う行政を円滑に進める職員数は適正か、状況を伺う。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	3 番 菅原 和幸  (一問一答)	1. 人口減少が進むなかでの公共施設の今後の在り方は	<p>遊佐町公共施設等総合管理計画が、昨年度末に公表された。対象はすべての公共施設とインフラであり、現状を更新した場合の財政シミュレーションも示されている。</p> <p>政策では、本町人口 8000 人を維持しているが、財政力の低下は必然である。</p> <p>公共施設の大半は、平成 30 年代に耐用年数年度が到来する。管理の基本方針も示されているが、第 8 次振興計画期間（～平成 38 年度）における財政計画等について伺う。</p>
		2. 「住民主体の地域づくり」への支援について	<p>町民主役による自治の実現を目指した「遊佐町まちづくり基本条例」の施行から 10 年が経過した。住民が主体になることで、課題が明確になり、スピーディな対応も可能になることも考えられる。</p> <p>人口減少が進むと行政の対応も限界があり「地と志」でつながる住民による地域づくりも必要と考える。「地域づくりプラン」を町が認定し、複数年に亘って町が支援する事業を検討されていないか。</p>
4	2 番 松永 裕美  (一問一答)	1. 県内初 18 年度遊佐高県外受験生受け入れについて	<p>○2018 年度から県外の人でも受験ができるように要件が緩和されたが、そこに至ったコンセプト(基本概念・基本発想)とプロセス(手順・過程)をお聞きしたい。</p> <p>○15、16 歳の多感な時期の子供達を受け入れるにあたっての下宿先はどうするのか？食事は？お弁当は？</p> <p>○受け入れ側の遊佐高との連携は整っているのか？</p> <p>○(受け入れるにあたって)現 1・2 年生である在校生やそのご両親側へのフォローは充分であるか？</p>
		2. 新庁舎建て替え等について	<p>○何度も議論し尽くさなくてはならない新庁舎建て替えについてのタイムスケジュールと予定候補地は？</p> <p>○空き校舎をリノベーションし、新庁舎として活用するお考えはあるのかどうか。(又は、八福神跡地等)</p> <p>○建て替えるまで、町民の方々に利用しやすい庁舎に少しでも近づける為、各課の表示を大きく目立つよう工夫したらどうか？英語等の表記も必要では？</p> <p>○効率良い仕事をして頂く為に、職員の方々の休息場所(バックヤード)確保は充分であるか？福利厚生面で知恵を使い、見直したり改善すべき点は無いか？</p> <p>○1F の正面入口の空きスペースを活用し地域おこし協力隊 6 人のフレッシュなアイデアを拝借し、月 1～2 回でも良いので町民の皆様が庁舎に立ち寄った際や、打ち合わせや待ち合わせできるプチカフェのようなシステムを構築してはどうだろうか？</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
5	1 番 齋藤 武  (一問一答)	1. 小山崎遺跡の 基礎的な保管・整理、 調査・研究の 体制立て直しを	<p>小山崎遺跡の複数の出土物や関係書類の所在が不明になっている。この中には研究者のみならず、町内外の注目を集めた出土物も含まれている。</p> <p>いつごろからこのような事態になっているのか。また、それはなぜきちんと公表されてこなかったのか。このままでは町の文化財行政の信用が失われ、小山崎遺跡自体の価値も傷がつきかねない。</p> <p>確かに埋蔵文化財に向けられる予算は限られるが、だからといって出土物等の所在不明を許容することにはならない。事実我真摯に向き合うとともに具体的な改善策を直ちに講じて、基礎的な保管・整理、調査・研究の体制を立て直すべきだ。</p>
6	8 番 佐藤 智則  (一問一答)	1. コミュニティ・スクール(学校 運営協議会制度) について	<p>2017年3月27日には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正によって教育委員会によるコミュニティ・スクールを導入することが努力義務とされ、同年4月1日に施行された。</p> <p>この法律施行をうけ、遊佐町教育委員会に於いても今年度に遊佐小学校、残り4小学校と中学校を来年度に設置する計画と聞く。</p> <p>時代の趨勢とも云うべき教育改革であろうが対応する状況に、設置までのプロセスは充分なされているのか懸念されなくもない。</p> <p>コミュニティ・スクール設置について多面的に問う。</p>
7	7 番 阿部 満吉  (一問一答)	1. 地産地食から 農業を見直す	<p>おいしいラーメン屋さんはあるけど遊佐食の食堂がない。</p> <p>外からのお客さんを迎えた時、気軽に行ける食堂がない。</p> <p>生活クラブ生協と長く培ってきた米や農産物を食べる処がないし、手軽に手に入らない。</p> <p>特産物としての加工品があるが、加工所もないし販売ルートもよくわからない。</p> <p>農業漁業の現場にはまだまだ課題があるが、ワンストップで考え取り組める仕組みを。まずは食べる処から。パーキングエリア戦略のヒントに。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
8	9 番 高橋 冠治  (一問一答)	1. 今後の庄内北部自立圏域内での交通移動対策は	庄内北部定住自立圏における各市町は、市営・町営バス等を運行させているが、行政区域の垣根を超えるまでには至っていない。特に移動手段を車に頼らなければならない地方にあっては今後免許証返上などで交通弱者が増える可能性もあり、通学や通院などの利便性を確保しなければならない。圏域内での今後の交通移動対策は。
		2. 閉鎖した「え〜こや八福神」の町の対応は	本年4月に複合型産直施設「え〜こや八福神」が閉鎖された。 町でも建設の際は、トイレ設置や進入路等の土地確保に支援をして来た。民間施設ではあるが、町の対応は。
9	4 番 筒井 義昭  (一問一答)	1. SNSによる周遊型観光の誘導策を	スマホやタブレットPCの普及により携帯情報機器による情報入手時代となった。 遊佐町に訪れる人に対し、周遊型観光情報の提案や町内経済効果につながる情報提供の為に、SNSによる誘導策を講じるべきではないか。
		2. 遊佐町のふるさと納税の今後は	総務省はふるさと納税返礼品に関し、換金性の高い商品や資産性の高い商品の禁止、返礼率を30%以下に抑える旨の通達を出したが、遊佐町においても返礼率70数%の一部返礼品があった経緯を踏まえ、如何にふるさと納税の在り方を改善し、返礼品をリニューアルしていくつもりか。
10	6 番 赤塚 英一  (一問一答)	1. 通学路の安全確保と対策	通学路の整備点検には、これまでも取り組んできていると思う。 しかしながら、改善すべき箇所は多く見受けられる。 また、日の短い時期の街灯、防犯灯などの重要性をどのように考えているか、子供達の安全確保の考え方と現状、今後の方針を伺う。